

# 令和6年度連携事業実績一覧（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	23	
未実施事業 (×)	10	
計	33	

項番	種別	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況	事業内容	事業効果・成果	今後の課題等
1	インターンシップ	公共サービスのイノベーション人材育成事業	経営学部	市民室 出張所担当	○	出張所の窓口サービスをより良くするための調査・提案活動を行う。学生が現地調査を行い、そこから生まれた課題に対し、改善案の提案・実施に向け取り組む。	PayPayの普及・啓発のポスター及びステッカーの作成を行った。ポスター及びステッカーの掲示後、R7.1月末にはキャッシュレスの利用率13.3%（今年度目標利用率10%）を達成した。	出張所窓口業務の多様化に伴う様々な問題を学生達と検討し、課題の抽出、改善策の検討を今後も進めていく必要がある。
2	インターンシップ	博物館学芸員課程 博物館実習	経営学部	文化遺産活用課	○	学芸員課程の実習生の受け入れ及び講師派遣	学生の感想として、学芸員の仕事に興味を沸いた、いずみの国歴史館に行ってみようという反応を得ることができた。	学芸員を目指す学生に有益な事業やいずみの国歴史館に学生に来てもらえるような事業の検討。
3	インターンシップ	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (学芸員課程履修学生の受け入れ及び講師派遣)	経営学部	久保記念美術館	○	4月27日に4名の学生を見学実習として受け入れた。新館ラウンジで展覧会と美術館について説明をおこなった。5月8日第3時限に桃山学院大学において「図書館・博物館への誘い<春>」のゲストスピーカーとして、美術館運営について講義をした。7月20日から24日の期間で桃山学院大学より実習生2名を受け入れた。学芸員が美術館施設の案内、業務内容の説明、美術品の取り扱い方法などを講習した。	身近にある美術館という存在を周知できた。学芸員の仕事の内情を講義し、専門職への興味を醸成した。	学芸員という仕事や、美術館という存在を認知したうえで、いかに来館者数へつなげるかが課題である。
4	インターンシップ	和泉シティプラザにおける桃山学院大学インターンシップ実習生の受け入れ	キャリアセンター	生涯学習推進室 生涯学習担当	○	生涯学習連携事業の一環で実施しているインターンシップ制度。受入先は、生涯学習センター、図書館、保健福祉センター、男女共同参画センター、和泉市役所出張所のいずれか。	保健福祉センターにおける対人援助業務を通して、公務員に求められる接遇等、基本的な社会人としてのスキルを習得するにあたって良い学習機会になったと考えられる。また具体的なイメージを抱きにくい公務員という職種に対して、多岐に渡る業務があることを直接理解してもらうための機会としても有効であったと考えられる。	どの部署でも生じることだが、保健福祉センターはとりわけ個人情報取扱が多い部署となる中で、関わってもらうことのできる業務の範囲が限られてしまう。受け入れ側としては非常にありがたかったが、単純作業や物の制作等が主な内容となっていた中で、直接市民とコミュニケーションを図る機会等を設定することができれば当該事業がより充実したものとなると考えられる。
5	インターンシップ	桃山学院大学留学生インターンシップ実習生の受け入れ【国際交流事業】	国際センター	生涯学習推進室 生涯学習担当	×	留学生のインターンシップを受け入れ、市の国際化推進・国際交流事業を体験してもらう。	-	-
6	ボランティア	和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」との連携事業	ボランティア活動支援室	広報・協働推進室 公民協働推進担当	○	子育て世代応援「ももやまキッズランド」として、桃山学院大学生との協働で、ボランティア団体も参加し、子育て世代の親子が楽しく交流できるイベントをアイ・あいロビーや近隣施設にて実施。 令和6年度は以下のとおり実施した。 ・5月25日(土) 参加者数350名 内容「缶バッジ」「紙コップUFO」「折り紙」「公式輪投げ」「スマートボール」 ・12月14日(土) 参加者数43名 内容「人形劇」「読み聞かせ」「クリスマスの工作」「サンタパフェ作り」	当日だけでなく企画から学生に参加してもらうことで、新たな繋がりがコミュニティが生まれる。(世代間交流)	学生ボランティアも、参加者(特に保護者)も、当日のみの参加で完結していることが多いので、そこから更に次へ繋がるための工夫を模索している。
7	ボランティア	信太山クロスカントリー大会 I N大阪和泉	地域連携課	生涯学習推進室 スポーツ振興担当	○	大会を通じた大学の広報活動支援、大会当日の受付や走行ランナーの安全を確保する陸上競技部のランナーボランティア。	大会を通じた大学の広報活動支援を行った。大会当日は、5名のボランティアに荷物一時預かり所の運営や走行ランナーの安全確保を担ってもらった。スムーズかつ安全に大会を運営できた。	-
8	ボランティア	IZUMIスポーツフェスティバル等のイベント	スポーツ教育センター	生涯学習推進室 スポーツ振興担当	×	大学のサブアリーナを会場として、年数回程度種目を変えながら老若男女問わずニュースポーツ教室を実施	-	-
9	ボランティア	公共図書館との連携事業	地域連携課	生涯学習推進室 生涯学習担当	○	・市立図書館との事業を連携・参画して実施し、学生と地域の子どもたちや図書館利用が様々な形で触れ合う場の提供。(学生による絵本の読み聞かせなど) ・図書館司書課程を学ぶ学生に市立図書館の現場の仕事や取組みを具体的に伝える。	読み聞かせについては、大人35人、子ども46人、計81人(いずれも延べ人数)の参加者があり、本を通して子どもたちと学生が交流できる場を設けることができた。また、図書館司書課程を学ぶ学生に対し、シティプラザ図書館において、令和6年8月19日～22日、24日の日程で、インターンシップを実施した。	他大学のインターンシップ受入れも行っているため、受入れ日程の調整が難しい場合がある。
10	桃山学生向け	法職オリエンテーション	法学部	人事課	○	【事業概要】 学生の学習意欲の向上を図り、和泉市への関心や市政への参加意欲を高めるとともに、将来の就職先として和泉市職員の志望者数の増加を図るため、市長・職員が市役所の仕事や和泉市について講義を行う。 【講義日程/対象者/講師】 ①令和6年5月27日(木) 11時00分～12時30分 法学部3回生/人事課職員 ②令和6年12月13日(金) 15時00分～16時30分 法学部1回生/人事課職員 ③令和6年12月20日(金) 15時00分～16時30分 法学部1回生/市長 【講義内容】 ①②和泉市の概要、市の組織、市の役割と施策、採用試験の概要 ③和泉市の概要、市の役割と和泉市の施策、市長の仕事とは、学生へのメッセージ	将来の就職先として和泉市職員を志望し、実際に複数の学生が新規採用職員に申し込みをしてくれた。	-
11	桃山学生向け	デートDV防止講演会	法学部	人権・男女参画室 人権・男女参画担当	○	国内外の男女共同参画施策の動向やSDGs(目標5ジェンダー平等)との関わりと、男女の人権尊重の推進の醸成につなげることを目的とし、学生や教職員、一般市民を対象に女性に対する暴力をなくす啓発事業の一環として、デートDVに対する正しい理解を深めるために講座を開催(法学部は授業の一環で単位取得の位置づけ)	講演後のアンケート調査結果から、暴力についての正しい知識や、ジェンダー平等についての歴史や、世界における日本の現状を知り、参加者自身の性別役割分担意識などに気づきを促し、考えを深めることができたと考えられる。	近年、若年層に対する性暴力にかかる問題が深刻な状況にあることから、引き続き講座を開催する必要がある。
12	桃山学生向け	経営学特講―まちをビジネスする(観光ビジネス)	経営学部	産業振興室 商工観光担当	○	地域資源を活用した観光ビジネスの現状・発展の可能性について学ぶため、学生自らがフィールドワークにて得た情報を基に、和泉市の観光ビジネス案を作成し、プレゼンテーション等を行う。(経営学部の学生による約全15回の定期講義)	学生の視点により検討された本市の観光に対する課題や活性化案についてプレゼンテーションを開くことで、新たな気付きに繋がり、施策の検討において役立っている。	継続していく中で、市内の主な観光施設は既に取り上げているものが多くなってきており、市内の観光施設を含めるなど、今後のあり方について検討していく必要がある。
		経営学特講―まちをビジネスする(公共施設の経営)	経営学部	生涯学習推進室 生涯学習担当	×	公共施設の経営をビジネスという観点から捉え、利用者を増やすための手立てを学生に提案いただくもの。「和泉シティプラザの現状と課題」をテーマに市職員による課題を提示し、現地見学やグループディスカッションを行った後、学生にプレゼンテーションしてもらう。	-	-

# 令和6年度連携事業実績一覧（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	23	
未実施事業 (×)	10	
計	33	

項番	種別	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況	事業内容	事業効果・成果	今後の課題等
13	桃山学生向け	消費者啓発事業	経済学部	くらしサポート課 消費生活センター	○	消費者被害の防止を目的とし、教員との連携により啓発講座を開催する。	令和6年6月12日実施。 大学生に広く周知することで消費者被害防止を行うとともに、大学生が認識を深めることにより、将来的な消費者被害防止につながる。	教員や消費生活相談員の交代等に伴う講座開催の継続性。
14	市民向け	いずみ市民大学教養学部における連携講義	エクステンション・センター	生涯学習推進室 生涯学習担当	○	いずみ市民大学教養学部にて、教員が座学による講義を提供する。	和泉シティプラザにおいて、文学・歴史・音楽・法学など様々な分野の講座を前期後期の計12講座を開催した。1講座につき平均約70人の生徒数を確保できた。	平日の日中に開講するため、生徒に若年層や就労者が少ない。夜間や土日の開講も検討の余地がある。
15	教育支援	教育・文化・スポーツの発展と振興に関する事業 (学外研修：学校現場体験)	教職センター	学校教育室 教職センター	○	学生が、市立小中学校・義務教育学校・幼稚園・保育園・教育センター、生涯学習推進室等で、様々な教育活動の補助にあたる。学生は当該活動が学外研修として単位認定される。 (令和元年度以降、実施なし。令和5年度も実施されないことは、大学側に確認済。変更がある場合は大学より連絡をいただく旨確認済) ※単位認定を行う形での事業実施は行わないが、単位認定に関わらない個別の取組みについては実施する。	令和元年度以降、実施なし。令和6年度、実施されないことは、大学側に確認済。変更がある場合は大学より連絡をいただく旨確認済。	大学側の取組みが再開された場合、速やかに実施できるようにする。
16	教育支援	和泉市中学生生徒会サミット	教職センター	学校教育室 教育指導担当	○	事前に設定したテーマをもとにグループで討論会を実施する。 日時 令和6年8月26日(月) 場所 桃山学院大学 聖ヨハネホール 内容 各中学校の生徒会役員により、事前に設定したテーマでグループ討論(教職課程在籍の学生と意見交流)と全体討論 R6テーマ「特色ある学校の取組みについて」、「各校の実情と課題について～不安や悩みの共有も含めて～」	今年度で、14回目の開催となり、生徒会役員にとっての活動の場となっている。今回は「特色ある学校の取組みについて」及び「各校の実情と課題について～不安や悩みの共有も含めて～」というテーマで集合型で開催し、グループ討論や発表を行った。各校の取組みを知ることで、今後の取組みを考える貴重な機会となった。また、これも基本法の施行に伴い、行政によることも意見反映の意義について、再周知したとともに、令和6年12月24日に「市に伝えたいこと」というテーマで実施した、生徒会交流会につなげる会とした。	生徒会役員のみでの参加であるため、全体討論された内容等が各校で共有されることが重要。また、会の実施形態、テーマについて、形骸化しないようさらなる工夫が必要。
17	教育支援	アメリカンフットボール部地域支援事業 (フットボール指導)	アメリカンフットボール部	学校教育室 教育指導担当	○	アメリカンフットボール部による小学校へのフットボール指導(出前授業)や桃大グラウンドでの試合体験	・小グループに1人の大学生が付き、よきめ細やかな児童観察や指導を行うことができた。 ・フットボールの授業において、実践的な戦略に基づいて工夫する児童もいた。 ・チーム力を高めるための掛け声やサイン、作戦などをその他の教育活動にも生かす児童もいた。	小学生に対して、学生が少し戸惑う様子も見受けられたが、時間と共に打ち解け、充実した活動となった。
18	教育支援	教育連携事業(PBL型学習プログラム授業)	大学統括部 BDLオフィス	学校教育室 教職センター	○	市立小中学校・義務教育学校において、大学教員、PBL学習コーディネーター、学生などと協働して、PBL型学習プログラム授業を実施する。	横尾中学校における地域を教材とした【横尾学】の取組みにおいて、令和7年度以降、大学と連携をとることができるか協議をしている。	連携方法の最適解を模索していく。
19	教育支援	和泉市交換学生受入事業	国際センター	生涯学習推進室 生涯学習担当	○	姉妹都市であるアメリカ・ミネソタ州ブルーミントン市からの交換学生受入時に、桃山学院大学への訪問を行い、大学内の見学や留学生を含む学生との交流会を実施する。	受入期間中に桃山学院大学への訪問を行い、大学内の見学だけでなく、留学生を含む学生との交流会を実施できた。ただ施設を訪問・見学するだけでなく、留学生と一緒に大学内の見学や昼食を食べることで、受入学生にも交流する機会を得ることができ、交換学生にとって有意義な時間を過ごすことができた。	桃山学院大学職員の方々の主導で施設内の見学や昼食を実施いただいたので、理解しやすく、スムーズに実施することができたが、学生たちの交流機会を増やすために、留学生が主体で大学内を案内、グループ分けの実施など、より交流をできる仕組みを検討することで、当該事業がより充実したものとなると考えられる。
20	委員委嘱	和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 (CSWへのスーパーバイズ)	社会学部 ソーシャルデザイン学科	福祉総務課	○	専門的見地から個別支援や地域支援の事例を通して、CSWの課題整理やアドバイスをいただき、CSWの取組みをより充実させる。	【事業概要】 専門的見地から個別支援や地域支援の事例を通して、CSWの課題整理やアドバイスをしていただき、CSWの取組みをより充実させる。 第1回(令和6年 6月) 増進型福祉について小野教授より説明頂き、今年度のSVの進め方を確認した。今年度は増進型福祉の考え方に沿って個別支援の事例検討を重ねていくこととした。 第2回(令和6年 9月) 各CSWが選定した個別ケースについて、増進型福祉の視点での意思形成支援、意思表明支援の進捗を共有した。 第3回(令和6年 12月) 引き続き個別ケースについて、意思実現支援の報告及び支援のための検討を行った。 第4回(令和7年 3月) 増進型支援の成果を報告・共有し、振り返りを行った。CSW同士で個別ケースの進め方を共有できたことで、新たな視点での気づきを得ることができた。	増進型支援について今後も継続的に理解を進めるとともに、普段の業務の中でもCSW同士で連携を深めていく。
21	委員委嘱	社会的居場所づくりプロジェクト	社会学部 ソーシャルデザイン学科	福祉総務課	×	社会的に孤立状態にある人(ひきこもり等)の交流の場を社会学部教授の専門的なアドバイスと学生の柔軟なアイデアを活かし、CSWと協働して、社会資源の活用、連携の仕組みづくりを行い、社会的に孤立状態にある人の就労や生活状況の改善など、自立に向けた支援へ結びつける。	-	社会的居場所づくりプロジェクトの在り方についてCSWと協議している。今後の本プロジェクトの実施方法は検討中である。
22	委員委嘱	認知症地域で支え“愛”事業	社会学部 ソーシャルデザイン学科	高齢介護室 高齢支援担当	○	「和泉市の認知症支え“愛”を考えるまちづくり連絡会」「認知症初期集中支援事業検討委員会」への参画。 随時、認知症地域で支え“愛”事業に関して、研修等への協力依頼・専門的なアドバイスをいただく。	認知症の事業の中で、川井先生から事業を展開する上での貴重な意見を頂く事ができた。	学生と協同で行える事業の場を検討していく。
23	委員委嘱	和泉市生活困窮者自立支援事業	社会学部	くらしサポート課 生活相談係	×	専門的見地から相談支援、地域づくり等に関する助言及び連絡会議の外部アドバイザーとして、参加していただく。	-	-
24	4つの約束	MOMOYAMAエクステンション・カレッジ	エクステンション・センター	所管部局	×	地域の方々への知的ニーズにこたえ、より充実した豊かな時間をともに過ごしていただくための社会人向け講座に対し、地場産業や産業・工業関係事業者との調整を行う。	-	-

# 令和6年度連携事業実績一覧（桃山学院大学）

	実施件数	備考
実施事業 (○)	23	
未実施事業 (×)	10	
計	33	

項番	種別	事業名	大学担当部署	市担当部署	実施状況	事業内容	事業効果・成果	今後の課題等
25	4つの約束	使い捨てコンタクトコンタクトレンズ空ケースの回収事業	地域連携課	環境政策室生活環境担当	○	和泉市民が排出する使い捨てコンタクトレンズ空ケースを適正に回収処理し、ごみ減量及び適正処理の市民意識の高揚と再資源の促進を図るため、令和3年2月2日より『いずみプラスチックごみゼロ宣言』の取り組みとして、桃山学院大学と包括連携を行い、HOYA株式会社アイケアカンパニーが提供する「アイシティecoプロジェクト」に参加している。	コンタクトレンズの空ケースはそのほとんどがポリプロピレンというリサイクルに適している素材で作られているが、その多くはごみとして廃棄されていてリサイクル率は1%程度である。 「いずみプラスチックごみゼロ宣言」を令和元年10月に宣言を契機に、空ケースのリサイクルを促進し、ひいてはごみの減量化に取り組んでいる。	「アイシティECOプロジェクト」の更なる普及と市民への周知方法
26	その他	地域の魅力・顔づくりプロジェクト<和泉中央>	地域連携課	産業振興室 商工観光担当	○	「“えき”から広がる大阪の再生」をテーマに、和泉中央駅周辺の活性化を図るため、地域の課題を探り、ニーズにこたえたイベントを企画・実施するにあたり開催されている「まちづくり会議@和泉中央」に参加している。 【プロジェクト推進協議会会員団体】 桃山学院大学、エコーL・いずみ店舗会、(株)UJL エコーL・いずみ営業所、泉北高速鉄道㈱運輸部、南海バス(株)光明池営業所、(株)ホンダ泉州販売 和泉中央店、認定こども園いぶきのPreSchool	会員団体による和泉中央駅周辺のゴミ拾いや花植えを通じ顔の見える関係性づくりを構築することにより、地域の課題解決や活性化に繋がっている。	令和8年度で大阪府（鳳土木）と本市がオブザーバー化する予定となっており、今後の運営について民間により自走していくため、大阪府から引継ぎが必要となる。
27	その他	租税教育推進の街いずみプロジェクト	未定	税務室 学校教育室	×	教育機関、泉大津税務署、市税務担当及び市教育委員会が積極的に連携し、次代を担う学生等に税の意義や役割を伝えることをめざし、小・中学校にて学生による租税教室等を実施する。	-	-
28	その他	成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業	総務部 経営企画課	政策企画室 IT活用推進担当	×	文部科学省が推進する「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」の採択に向け、DX/GXといった成長分野に関する地域の社会人向け研修事業への企画協力、産官学で構成する事業実施委員会の運営および採択後の事業実施について連携する。	-	-
29	その他	春季走り方教室	地域連携課	生涯学習推進室 スポーツ振興担当	×	市内小学生を対象に開催。スポーツ推進委員が短距離走の走り方、トレーニングを小学生に教えるイベント。 陸上のトラックを借用し、開催。	-	実施に向けては再度調整・協議する必要がある。 また、大学の部活動との兼ね合いを考慮する必要がある。
30	その他	あいサポート運動	未定	福祉部 障がい福祉課	×	多様な障がいの特性、障がいのある人が困っていることなどを理解して、障がいのある人に対してちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある人が暮らしやすい地域社会（共生社会）をみんなで作る「あいサポート運動」推進の一環として、学生等を対象に「あいサポーター研修」を実施する。	-	-
31	その他	学生を対象にしたアンケート調査	地域連携課	政策企画室	○	令和8年（2026年）度を始期とする第6次和泉市総合計画、次期和泉創発プランを令和6～7年度にて策定予定で、策定に先立つアンケート調査の一環として、地方より桃山学院大学に入学し、一人暮らしをしている大学生に対してのアンケート調査を実施するほか、桃山学院大学事務局とこれからの市と大学の連携について意見交換を行う。	大学生目線の和泉市の魅力や課題を把握し、若者の定住意向の向上や転入促進のための施策検討につなげることができた。	-
32	ボランティア	防犯ボランティア「桃/バト」	学生支援課	危機管理課	○	警察等とも協議し、防犯キャンペーン、交通事故防止キャンペーン、下校時見守り活動等のボランティア活動を行う。（令和6年度の予定 既存活動の継続） ・緑ヶ丘小学校の下校時見守り活動 ・防犯教室の実施 ・青バト合同パトロール活動 ・各種防犯キャンペーンへの参加 ・各種防犯会議等の参加	見守り活動やパトロール等を通して、危険箇所の注意喚起や防犯、交通事故の抑止となっている。小学生の安全安心な登下校につながっている。	今後も継続して活動を行う。